

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）

(実施期間：平成 27～32 年度)

実施機関：富山大学（総括責任者：遠藤 俊郎）

取組の概要

意識を変える：男女共同参画の先進的学術機関である欧米の提携大学へ女性研究者の短期留学を推進する。学術的刺激や男女共同参画についての意識を深めた国際型女性研究者は、帰学後、部局縦断・横断ミーティング等においてメンターやコーディネーターとなり、経験を次世代に伝え、挑戦意欲の循環を生み出す。

組織を変える：優秀な女性研究者の上位職への登用が公正になされるための多様な視点での人事裁定を担保するよう、各部局の人事選考委員会に男女各1名の外部委員が参加する。

環境を変える：病児・病後児保育、ベビーシッター・プーリング、研究サポーターの拡充、介護コンシェルジュ配置など研究環境を充実させる。

以上の取り組みにより、国際的視野を持ち高い実力を有する女性研究者が増加し循環的に人材育成がなされるシステムが構築されることで、上位職への女性の登用機会が高まり、大学が活性化化する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	b	s	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

「国際型女性研究者育成プログラム」として、若手・中堅女性研究者を対象とした「短期留学助成金制度」と上位職女性研究者を対象とした「国際シンポジウム開催助成制度」を構築し、研究力、マネジメント力を備えた国際的に活躍できる女性研究者の養成を目指し、一定の成果を挙げており評価できる。また、「保育コンシェルジュ」及び「介護コンシェルジュ」を配置し、研究とライフイベントとの両立支援を着実に進めており評価できる。一方、女性教員在職比率、女性教授比率、執行部役員及び部局長の女性比率に係る所期の目標は未達であり、今後は、目標達成に向け取組の改善を図ることを期待する。

- ・**目標達成度**：国際的に活躍できる女性研究者の育成は、所期の計画通り順調に進捗しており評価できる。しかしながら、女性教員在職比率、女性教授比率、執行部役員及び部局長の女性比率に係る所期の目標はともに未達であり、実施期間終了時の最終目標達成の道のりは遠い。現行の取組の改善が望まれる。
- ・**取組**：「国際型女性研究者育成プログラム」は、女性研究者の研究力、マネジメント力向上に繋がる取組であり高く評価できる。保育支援及び介護支援は、女性研究者のニーズに基づき拡充し運用実績を高めており、また、「保育コンシェルジュ」及び「介護コンシェルジュ」の配置により効率的な支援を実現しており高く評価できる。

- **取組の成果**：「国際型女性研究者育成プログラム」により、女性研究者の研究力及びマネジメント力の向上、意識啓発が確実に進んでおり評価できる。女性研究者の科学研究費取得数は顕著に増加し、また、4名の女性教員が教授への昇任を果たしており、女性研究者の研究力向上に向けた取組が着実に成果を挙げているものであり評価できる。
- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、各部局からの教員が参画する「男女共同参画推進委員会」、本事業実施母体である「男女共同参画推進室」を設置し、機関全体として女性研究者の養成を進める実施体制を構築したことは評価できる。「男女共同参画推進担当理事」の配置や「男女共同参画推進委員会」の委員増員等、体制の強化に努めていることも評価できる。
- **今後の進め方**：補助期間終了後も一定の自主経費を確保し、取組の継続を図っており評価できる。国際的な広い視野と高い研究力を合わせ持つ女性研究者を増加させることにより機関全体を活性化するという当初の方針に則り、未達の目標の達成へ向け取組の改善を図ることを期待する。